西幼だより

令和７年９月３０日
新潟市立西幼稚園

【教育目標】
しなやかに
たくましく

ブログも見てね！

（西幼稚園 HP）

高め合い、育ち合い

園長　渡邊 舞

西幼稚園では、給食の時「手を合わせましょう」とお友達が前に出て、その後「いただきます」のあいさつをします。年長児が前に出ると、年中児、年少児も率先してうれしそうに前に出て、気付くと、全員が前に出ていることもあります。３学年で一緒に過ごす毎日は、子どもたちの「やりたい！」「もっと〇〇したい」という意欲が膨らむ大切な場となっています。あるときは友達、あるときはライバル、あるときは刺激し合う仲間、あるときは兄弟、姉妹のようにして過ごしています。楽しさや喜びをみんなで感じる場面や、一方で同じことをしていても発達段階によって興味、関心が違う場面があります。その中で、年少児が自ら年長児と同じようにやってみる姿もあり、ときには、思うようにいかずに、涙することもあります。それも大事な経験です。毎日の中で、３学年が一緒にいて心地よいと感じる関係性となり、お互いのしていることや個性を認め合い、良さを感じ合いながら、様々な経験を積み重ねています。こうした西幼稚園の異年齢保育が、２学期からさらに子どもたち一人一人の成長につながるように、という願いから、登園から降園まで１日を通して、全園児が一つの保育室を拠点に一緒に過ごす保育を開始しました。３学年が一緒に過ごしながら高め合い、育ち合う毎日。クラス、学年、担任の枠を取り払い、全担任、全教職員で子どもたちの成長を支える保育を展開しています。

運動会に向け、毎日が運動会のような西幼稚園。年長児や年中児がバトンを持って走る姿を見て、応援していた年少児が自分たちも「やりたい」とバトンをもって途中から加わったり、速く走る年長児をあこがれのまなざしでじっと見つめたりする姿も。「もっと」「もう一回」と、自分なりの課題に向き合い、さらに高みを目指しながら、その子なりに自信をつけていることを感じます。こうした子どもたちの「もっと」「もう一回」という姿は、子どもたちの成長に、そして学びにつながる大切な芽です。３学年での関わり合いの中で、子どもたち一人一人の育ちの芽が豊かに育っていくために、たくさんの愛情をもって、最適な環境と援助という栄養で大切に支えています。陽射しが強すぎても、水が多すぎてもその芽は育ちません。子どもたちに寄り添い、私たちも子どもたちと同様に高め合い、育ち合いながらチームとなって、子どもたちの成長を支えていきます。今週末は、運動会です。子どもたちが日々経験

していること、そして、３学年で高め合い、育ち合う姿がみなさんに伝わることを願っています。子ども主体の運動会では、ぜひ子どもたちのこれからの成長につながる温かい応援をよろしくお願いします。私たちは、引き続き、子どもたちの「やりたい」を支え、子どもたちの育ちの大切な芽を、黒子になって支えてまいります。